



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月10日

上場会社名 株式会社 星医療酸器
コード番号 7634

上場取引所 東

URL <http://www.hosi.co.jp>

代表者（役職名） 代表取締役社長

（氏名） 星 幸男

問合せ先責任者（役職名） 経理部長

（氏名） 後藤 勇治

（TEL） 03(3899)2101

半期報告書提出予定日 2025年11月12日

配当支払開始予定日

2025年12月1日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	7,372	1.2	863	△1.9	917	△0.8	622	△0.1
2025年3月期中間期	7,285	4.6	880	0.2	924	1.9	622	0.4

（注）包括利益 2026年3月期中間期 860百万円（ 8.6％） 2025年3月期中間期 791百万円（△11.0％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	199.22	—
2025年3月期中間期	199.70	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期中間期	25,389	19,466	75.5
2025年3月期	24,590	18,715	74.9

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 19,168百万円 2025年3月期 18,429百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2026年3月期	—	45.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	45.00	90.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	15,260	1.0	2,070	4.4	2,140	3.7	1,476	0.9	472.57

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期中間期	3,420,000株	2025年3月期	3,420,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	296,800株	2025年3月期	296,652株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年3月期中間期	3,123,275株	2025年3月期中間期	3,119,148株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間期に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(表示方法の変更)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当中間期に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられるものの、緩やかに回復しております。先行きにつきましては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が我が国の景気の更なる回復を支えることが期待されますが、海外経済の鈍化や米国の通商政策等の影響による景気の下振れリスクには留意が必要であります。加えて、物価上昇の継続が個人消費に及ぼす影響なども、我が国の景気を下押しするリスクとなっております。また、金融資本市場の変動等の影響にも引き続き注意する必要があります。

このような経済環境のもと、当社グループは取扱商品・サービスの安定供給とお取引先様と従業員の安全確保を最優先に事業を継続し、医療・介護・福祉分野において企業としての社会的責任を果たしてまいりました。

これらの結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高は7,372百万円(前期比1.2%増)、営業利益は863百万円(前期比1.9%減)、経常利益は917百万円(前期比0.8%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は622百万円(前期比0.1%減)となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

①医療用ガス関連事業

当部門は、新規取引先拡販が順調に推移し、医療用酸素ならびに二酸化炭素の出荷量は堅調に推移いたしました。世界情勢を反映したエネルギーコスト上昇等に伴う材料・仕入価格の増加につきましては、市況を鑑みた適正価格への変更に注力し交渉を進めてまいりました。また物流・運送業界におけるポスト2024年問題に対応すべく、円滑な組織体制づくりや人的資源の拡充にも努めてまいりました。

これらの結果、売上高は1,936百万円(前期比0.2%増)、セグメント利益は282百万円(前期比2.7%減)となりました。

②在宅医療関連事業

当部門は、国の施策による在宅医療推進の流れを背景に、患者様および医療機関のニーズに的確に対応し、きめ細やかな営業活動を継続いたしました。その結果、「HOT(在宅酸素療法)」、「CPAP(持続陽圧呼吸療法)」ともに堅調に推移いたしました。

利益面では、世界的な原材料価格の上昇やエネルギー関連コストの高騰に対応すべく、配送体制等の合理化施策を推進し、収益性の確保に努めました。

これらの結果、売上高は3,552百万円(前期比7.6%増)、セグメント利益は431百万円(前期比7.8%増)となりました。

③医療用ガス設備工事関連事業

当部門は、医療機関に対し医療用ガス設備ならびに消火設備等の配管工事および配管設備の保守点検業務を行っております。配管設備の保守点検業務は安定した売上を確保しておりますが、建築費高騰の影響で医療機関の設備投資が減少していることにより、中間期における設備工事の売上は減少いたしました。

これらの結果、売上高は613百万円(前期比23.9%減)、セグメント利益は91百万円(前期比14.7%減)となりました。

④介護福祉関連事業

当部門は、介護福祉関連機器のレンタルおよび販売部門におきましては、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所及び病院・施設への継続的な営業活動を図っておりますが、レンタル売上および販売におきまして前年の売上を若干下回りました。

一方、デイサービス及び訪問看護事業所部門におきましては、都内3拠点を事業基盤として地域へのPR活動強化による認知度アップとスタッフの増員など運営体制の充実を図り、順調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は582百万円(前期比0.2%増)、セグメント利益は0百万円(前期比99.7%減)となりました。

⑤施設介護関連事業

当部門は、有料老人ホーム「ライフステージ阿佐ヶ谷」(東京都杉並区)におきましては、24時間看護師在駐や地元医療機関との連携の更なる構築を図り、高付加価値サービスの提供と、人材育成の体制を強化いたしました。また、入居者様の多様性を把握したうえで、感染症予防とまん延防止を第一とした施策を徹底することにより、入居者様やご家族様への「安心」・「安全」をお届けし、入居率の向上に努めてまいりました。

通所介護施設「あしつよ・文京(東京都文京区)」、「あしつよ巣鴨(東京都豊島区)」、「あしつよ王子(東京都北区)」におきましても、感染症防止に努めつつ地元密着型のサービスの提供と顧客サービスの多様化に対応することにより稼働率アップに努めました。

これらの結果、売上高は176百万円(前期比1.4%増)、セグメント損失は2百万円(前期セグメント利益0百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産の状況)

当中間連結会計期間末の総資産は25,389百万円(前連結会計年度末比799百万円増)となりました。これは主に、現金及び預金が167百万円、有形固定資産のその他のうちリース資産が90百万円、投資有価証券が886百万円増加し、受取手形、売掛金及び契約資産が395百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は5,922百万円(前連結会計年度末比48百万円増)となりました。これは主に、流動負債のその他のうち未払金が45百万円、リース債務が61百万円、固定負債の役員退職慰労引当金が90百万円、固定負債のその他のうちリース債務が40百万円、繰延税金負債が108百万円増加し、支払手形及び買掛金が297百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は19,466百万円(前連結会計年度末比750百万円増)となりました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益の計上等により利益剰余金が512百万円、その他有価証券評価差額金が231百万円増加したこと等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間において、現金及び現金同等物は232百万円減少し、当中間連結会計期間末残高は5,693百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは1,199百万円(前期比223百万円増)となりました。

これは、税金等調整前中間純利益が915百万円となり、減価償却費451百万円、法人税等の支払額309百万円があったこと等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは1,031百万円(前期比282百万円使用減)となりました。

これは、定期預金の払戻による収入5,100百万円、定期預金の預入による支出5,500百万円、投資有価証券の取得による支出536百万円があったこと等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは400百万円(前期比10百万円使用減)となりました。

これは、リース債務の返済による支出292百万円及び配当金の支払額による支出108百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期通期の連結業績予想につきましては、2025年5月12日発表の業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,625,818	10,793,473
受取手形、売掛金及び契約資産	2,871,491	2,475,510
棚卸資産	178,521	243,506
その他	109,926	175,877
貸倒引当金	△2,343	△2,005
流動資産合計	13,783,412	13,686,362
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,512,970	1,475,504
土地	3,634,607	3,645,607
その他(純額)	1,532,337	1,605,600
有形固定資産合計	6,679,915	6,726,712
無形固定資産	139,048	120,378
投資その他の資産		
投資有価証券	2,966,992	3,852,993
その他	1,025,347	1,007,563
貸倒引当金	△4,696	△4,638
投資その他の資産合計	3,987,644	4,855,919
固定資産合計	10,806,608	11,703,009
資産合計	24,590,021	25,389,372
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,748,621	2,451,616
未払法人税等	328,699	308,919
賞与引当金	214,948	180,948
その他	1,058,937	1,229,712
流動負債合計	4,351,206	4,171,197
固定負債		
役員退職慰労引当金	824,010	914,040
長期預り保証金	5,145	5,145
その他	693,719	832,498
固定負債合計	1,522,874	1,751,683
負債合計	5,874,081	5,922,880

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,180	436,180
資本剰余金	569,866	569,866
利益剰余金	17,339,833	17,852,733
自己株式	△838,246	△838,464
株主資本合計	17,507,633	18,020,315
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	899,846	1,131,436
退職給付に係る調整累計額	22,113	16,468
その他の包括利益累計額合計	921,959	1,147,905
非支配株主持分	286,346	298,270
純資産合計	18,715,939	19,466,491
負債純資産合計	24,590,021	25,389,372

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	7,285,705	7,372,926
売上原価	3,618,334	3,623,363
売上総利益	3,667,371	3,749,563
販売費及び一般管理費	2,786,790	2,885,792
営業利益	880,581	863,770
営業外収益		
受取利息	5,487	17,268
受取配当金	30,355	38,671
受取家賃	5,625	1,860
仕入割引	2,464	2,602
雑収入	4,946	4,234
営業外収益合計	48,879	64,638
営業外費用		
貸倒損失	981	—
支払利息	1,975	6,708
賃貸原価	846	—
雑損失	679	4,106
営業外費用合計	4,482	10,814
経常利益	924,978	917,594
特別利益		
固定資産売却益	943	—
特別利益合計	943	—
特別損失		
固定資産除却損	892	1,600
特別損失合計	892	1,600
税金等調整前中間純利益	925,030	915,994
法人税等	291,176	289,457
中間純利益	633,853	626,536
非支配株主に帰属する中間純利益	10,955	4,319
親会社株主に帰属する中間純利益	622,897	622,217

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	633,853	626,536
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	168,611	238,545
退職給付に係る調整額	△10,798	△4,995
その他の包括利益合計	157,812	233,549
中間包括利益	791,666	860,086
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	785,553	848,162
非支配株主に係る中間包括利益	6,113	11,924

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	925,030	915,994
減価償却費	407,024	451,211
のれん償却額	2,069	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	64,560	90,030
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,612	△396
賞与引当金の増減額(△は減少)	△39,900	△34,000
受取利息及び受取配当金	△35,843	△55,940
支払利息	1,975	6,708
有形固定資産除売却損益(△は益)	△801	1,600
売上債権の増減額(△は増加)	253,805	396,038
棚卸資産の増減額(△は増加)	△104,945	△64,985
仕入債務の増減額(△は減少)	△125,418	△297,005
その他	△60,731	54,906
小計	1,284,211	1,464,162
利息及び配当金の受取額	35,106	51,684
利息の支払額	△1,975	△6,708
法人税等の支払額	△341,519	△309,338
営業活動によるキャッシュ・フロー	975,823	1,199,800
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,100,000	△5,500,000
定期預金の払戻による収入	—	5,100,000
有形固定資産の取得による支出	△176,051	△83,919
有形固定資産の売却による収入	5,119	—
有形固定資産の除却による支出	—	△1,600
無形固定資産の取得による支出	△11,700	△1,086
投資有価証券の取得による支出	△30,151	△536,104
長期貸付金の回収による収入	14,247	120
出資金の払込による支出	△10,000	—
その他の支出	△5,693	△9,375
その他の収入	280	755
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,313,948	△1,031,210
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△150
リース債務の返済による支出	△303,319	△292,170
長期借入金の返済による支出	△180	—
自己株式の取得による支出	—	△217
配当金の支払額	△108,355	△108,395
財務活動によるキャッシュ・フロー	△411,855	△400,934
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△749,980	△232,344
現金及び現金同等物の期首残高	9,755,745	5,925,818
現金及び現金同等物の中間期末残高	9,005,764	5,693,473

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(表示方法の変更)

前中間連結会計期間における営業外収益「その他」の勘定科目名称を、当中間連結会計期間より「雑収入」へ変更しております。また、前中間連結会計期間における営業外費用「その他」の勘定科目名称を、当中間連結会計期間より「雑損失」へ変更しております。

これらの変更は、開示の明瞭性を高めるために実施しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント						その他	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	1,932,043	3,301,852	806,472	580,896	174,111	6,795,376	490,329	7,285,705
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	43,883	—	—	43,883	—	43,883
計	1,932,043	3,301,852	850,355	580,896	174,111	6,839,259	490,329	7,329,589
セグメント利益	290,551	400,132	107,442	19,853	783	818,763	61,817	880,581

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	818,763
「その他」の区分の利益	61,817
セグメント間取引の消去	—
中間連結損益計算書の営業利益	880,581

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント						その他	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	1,936,620	3,552,512	613,866	582,319	176,492	6,861,810	511,115	7,372,926
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	37,353	—	—	37,353	—	37,353
計	1,936,620	3,552,512	651,219	582,319	176,492	6,899,164	511,115	7,410,280
セグメント利益 又は損失(△)	282,841	431,386	91,694	60	△2,145	803,835	59,935	863,770

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	803,835
「その他」の区分の利益	59,935
セグメント間取引の消去	—
中間連結損益計算書の営業利益	863,770

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。